

2020年 **12月5日** **土**
14:00~17:30

共催 日本オリエント学会、
名古屋大学高等研究院

開催方法 オンラインウェビナー

新型コロナウイルス感染拡大予防のためオンラインでの開催となります。
ご理解の程よろしく申し上げます。

プログラム

- 14:00~ ▶ 開場
- 14:15~ ▶ 開会の挨拶
- 14:25~ ▶ シンポジウム
- 16:00~ ▶ パネルディスカッション
- 16:40~ ▶ 閉会の挨拶
- 17:00~ ▶ 奨励賞授賞式

研究発表会

2020年 **12月6日** **日**
10:00~15:00

**研究発表会
参加費** 3000円
(学籍を有する方は無料。非会員の方は推薦者が必要です)

オリエントの
学際研究
— エジプト学の未来 —

日本オリエント学会第62回大会公開シンポジウム



公開
シンポジウム
参加費
無料

申込 **11月24日** **火**

申込方法 日本オリエント学会第62回大会参加申し込みフォーム ▶ <https://forms.gle/FBabJbnxL2WsKzNu5>

※公開シンポジウム参加費無料、オリエント学会の会員ではない方の参加も歓迎します。

※送信後、申込確認メールが届きます。万一、届かない場合は、大会事務局 orient2020@iar.nagoya-u.ac.jp までご連絡ください。

14:00～

▶ 開場

14:15～

▶ 開会の挨拶／周藤 芳幸 (日本オリエント学会第62回大会実行委員長)

14:25～

▶ シンポジウム

- 馬場 匡浩 (早稲田大学エジプト学研究所・客員主任研究員)
「エジプトにおける学際研究」
- 山花 京子 (東海大学文化社会学部アジア学科・准教授)
「古代エジプト・ファイアンス研究
—研究領域のパラダイムシフトを目指して—」
- 永井 正勝 (東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門・特任准教授)
「研究資源共有のためのプラットフォームの開発:
二人の言語学者の発想から始まった言語資料のデータベース化」
- 森島 邦博 (名古屋大学大学院理学研究科・特任助教)
「宇宙線イメージングによる
クフ王ピラミッド内部の新空間の発見と今後の展望」

16:00～

▶ パネルディスカッション

コメンテーター

モデレーター

- 川本 悠紀子 (名古屋大学人文学研究科・准教授)
- 山田 綾乃 (早稲田大学エジプト学研究所・招聘研究員)
- 河江 肖剰 (名古屋大学高等研究院・准教授)

16:40～

▶ 閉会の挨拶／近藤 二郎 (日本オリエント学会会長)

17:00～

▶ 奨励賞授賞式

■ シンポジウム発表者

馬場 匡浩

早稲田大学
エジプト学研究所
客員主任研究員

日本学術振興会特別研究員PD、英国カーディフ大学客員研究員、早稲田大学文学学術院助教、早稲田大学高等研究所准教授を経て現職。専門はエジプト考古学。先王朝時代のヒエラコンポリス遺跡で発掘調査を進め、国家形成期の複雑化社会の研究に取り組む。近著に『古代エジプトを学ぶ』(六一書房)など。

永井 正勝

東京大学附属図書館
アジア研究図書館
上廣倫理財団
寄付研究部門
特任准教授

修士・博士と考古学専攻に所属して発掘調査に参加するも発掘報告書が資料となるような物質文化研究に限界を感じて言語学に転専攻。言語研究においては、発掘調査の経験を踏まえ、原資料に基づく言語資料の研究、資料と記述結果のデータベース化を実践している。データベース化に関する論文で日本情報処理学会山下記念研究賞を受賞。

山花 京子

東海大学
文化社会学部
アジア学科
准教授

シカゴ大学人文学部(修士)・東海大学論文博士(文学)。東海大学文学部、東京工業大学、慶應義塾大学文学部の講師を経て現職。日本ガラス工芸学会理事。専門は古代エジプト考古学。中でも「ファイアンス」と呼ばれる現在では失われたガラスと焼き物の中間物質の研究を主とする。

森島 邦博

名古屋大学
大学院
理学研究科
特任助教

名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程修了(2010年)。博士(理学)。現在、名古屋大学大学院理学研究科特任助教。JSTさきがけ研究者(兼務)。宇宙線ミュオンを利用した巨大物体の内部可視化技術「宇宙線イメージング」により、2015年に福島第一原発の炉心溶融の可視化に成功。2017年にはクフ王のピラミッド内部に未知の空間を発見した。